

道の駅たかのす管理運営計画



北秋田市

令和 7 年 9 月

目次

1. 背景と目的.....	1
2. これまでの経緯.....	2
3. 管理運営体系	4
4. 施設別の管理・運営の検討.....	5
【道の駅棟】	
(1) 物産等販売施設.....	5
(2) レストラン（セルフサービス）	6
(3) テナント飲食店.....	6
(4) 子育て応援施設.....	6
(5) モンベル直営店.....	7
(6) ツーリストセンター・観光情報発信施設.....	7
(7) 道路情報発信・24 h トイレ	8
【付帯施設】	
(8) 駐車場	8
(9) 公園・釜堤エリア	8
(10) 大太鼓の館.....	8
(11) 旧産直大太鼓（空きスペース）	8
5. 地域・広域連携の強化.....	9
6. 目標.....	9
7. 今後の進め方	10
《参考資料：建物の配置、動線、施設規模（イメージ）》	10

1. 背景と目的

「道の駅たかのす」は、平成元年10月の供用開始以降、道路利用者はもとより観光客や地域住民の憩いの場として多くの人々から親しまれ、地域の経済と雇用にも大きく貢献してきました。

近年は、高速道路の延伸や人口減少及び少子高齢化の進行に加え、激甚化する災害や感染症の流行等、社会経済情勢やライフスタイルも急激に変化しており、道の駅としても、こうした変化や課題に的確に対応するとともに、引き続き地域の活性化に取り組んでいくことが求められています。

そうした現状を踏まえ、本市では、今後の「道の駅たかのす」の目指すべき姿や整備方針、導入機能等について検討を進め、令和4年1月に「道の駅たかのす基本計画」を策定したところです。

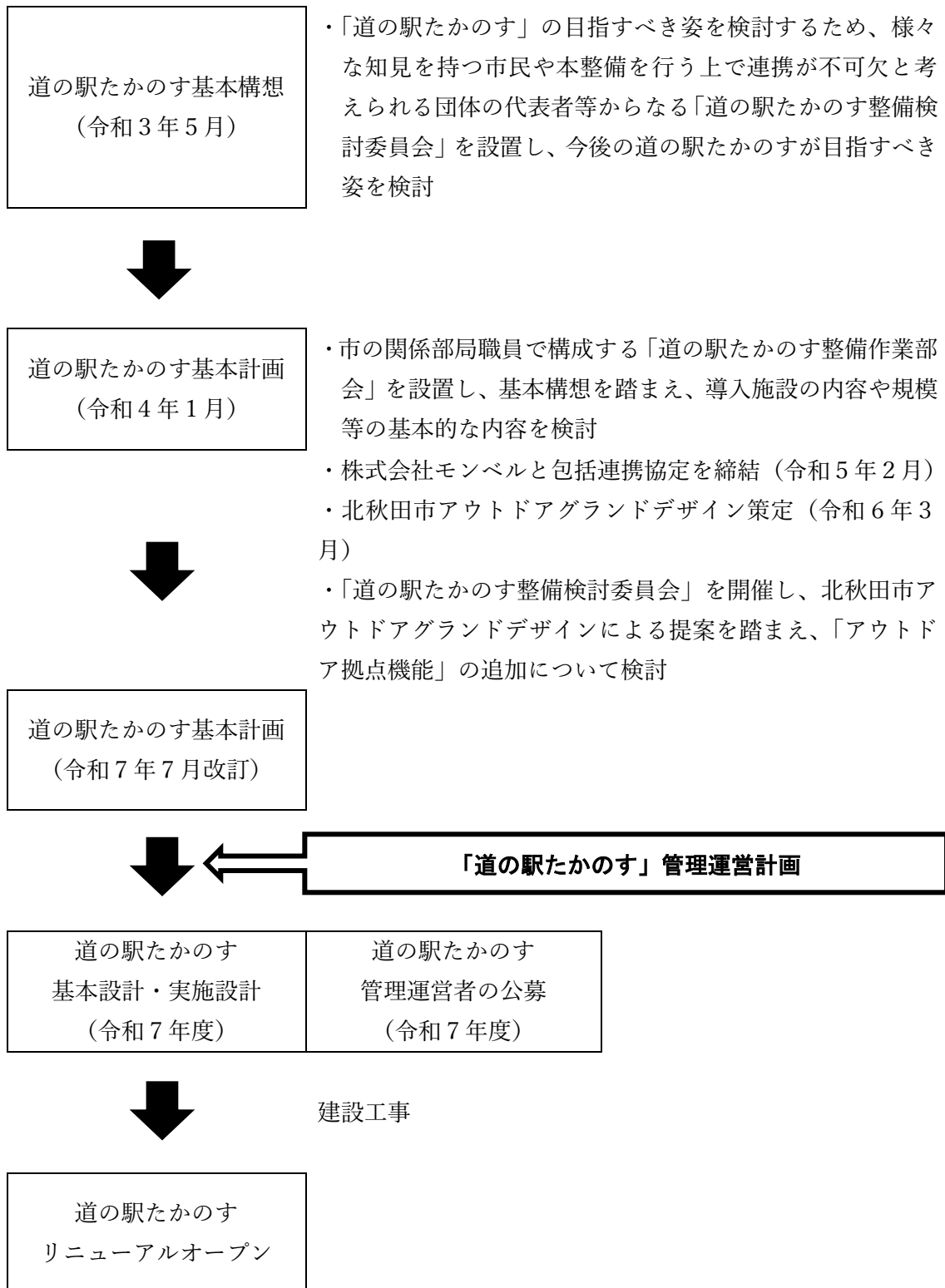
その後、総合アウトドア企業の株式会社モンベルとの包括協定に基づき策定した「北秋田市アウトドアランドデザイン」において、アウトドア・アクティビティをはじめとする様々な情報提供を行うビジターセンター機能を有する「アウトドア拠点施設」の整備の必要性が示され、県北部及び隣県の自然資源を活かした観光のハブとして「鷹巣地区」が適地とされたことを踏まえ、「道の駅たかのす」にアウトドア拠点機能を追加するため、基本計画の改訂を行いました。

本管理運営計画は、「道の駅たかのす基本計画（改訂版）」で設定した導入機能や設備等について、サービスの向上や収益性の確保による持続的かつ安定的な運営を図るため、適切な管理運営のあり方を取りまとめるものであり、今後の運営管理者の公募及び基本設計・実施設計の検討に資する基礎資料として活用するものです。



2. これまでの経緯

◆経緯



道の駅たかのす基本計画（令和7年7月 改訂）

◆基本コンセプト

「世界一の太鼓が響き、森吉山の恵みにあふれ

子どもたちの心と体を育む、アウトドアステーション」

◆整備方針

- 1 豊かな自然と伝統文化を継承し、様々な世代が交流する「にぎわいステーション」
- 2 地元の食や製品の活用により、人が集い、地域産業が輝く「交流ステーション」
- 3 未来を担うすべての子どもたちが楽しく・安心して利用できる「冒険ステーション」
- 4 ノーマライゼーションの社会を実現する「心のバリアフリーステーション」
- 5 地域住民と道路利用者の安全・安心を確保する「防災拠点ステーション」

◆導入機能

- （1）休憩機能（食事、駐車場、トイレ）
- （2）情報発信機能（道路交通情報、休憩施設、観光情報・ツーリストセンター）
- （3）地域連携機能（アウトドア拠点施設、文化教養・観光レクリエーション施設、物産等販売施設、子育て支援施設、防災施設）
- （4）その他（イベントスペース、釜堤、公共交通）



3. 管理運営体系

(1) 基本方針

新たに建設する道の駅棟には、ツーリストセンター機能を有するアウトドア拠点施設と、物産販売機能、飲食機能、子育て応援機能を有する地域振興施設に加え、道路情報発信施設及び24hトイレが併設されます。

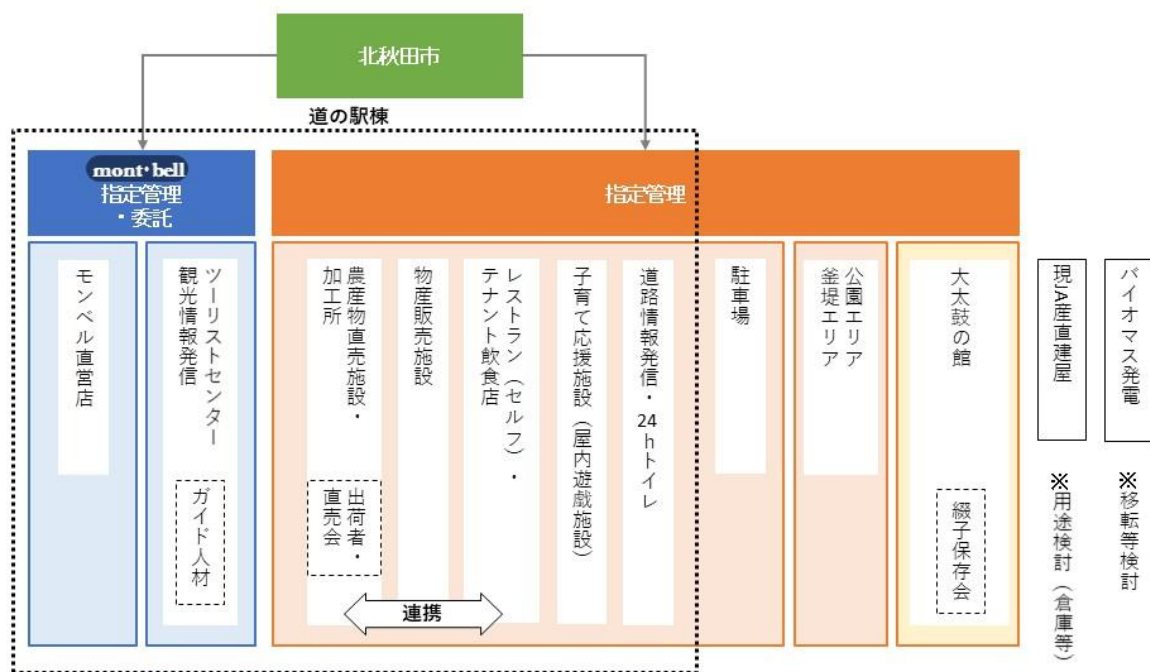
地域振興施設と駐車場、公園・釜堤エリアについては、同一の指定管理者による運営を行うことで、公的役割と収益性を併せ持つ施設の一体的な管理を行い、継続的な経営の安定を図ります。

アウトドア拠点施設については、総合アウトドア企業の株式会社モンベルが、アウトドア商品の販売やクライミング体験ができる直営店を運営します。

また、ツーリストセンターについては、北秋田市及び周辺地域の観光案内機能に加え、地域のガイド人材と連携することで、市内アウトドア・アクティビティ体験への誘導や、モンベルと連携したアウトドア・アクティビティ体験の実施などを行います。

なお、来場者が利用しやすい施設運営を円滑に進めるため、運営協議会を設置し、市及び関連事業者の代表により定期的に協議を行います。

道の駅たかのす管理運営 体系図(案)



○運営協議会を設置予定（指定管理者・モンベル・直売会・テナント・綴子保存会・市）

(2) レストラン（セルフサービス）

- ① 物産等販売施設との連携により、旬の地場産食材を活かしたメニューを提供する。
- ② 観光客、道路利用者、市民のニーズに対応したメニューを提供する。
- ③ 子育て世代をはじめとした住民が安心して食事できる環境を提供する。
- ④ 森吉山を望む眺望を活かした座席レイアウトとする。
- ⑤ 効率的かつ効果的な運営形態やサービスの手法を検討する。



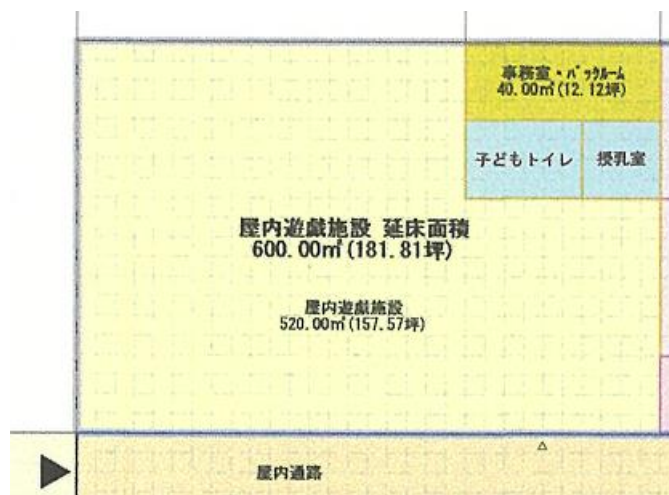
(3) テナント飲食店

- ① 地元飲食事業者等、出店者による運営管理を行う。
- ② 利用者ニーズに即したメニューの提供を促す。
- ③ 効率的かつ効果的な運営形態やサービスの手法を検討する。



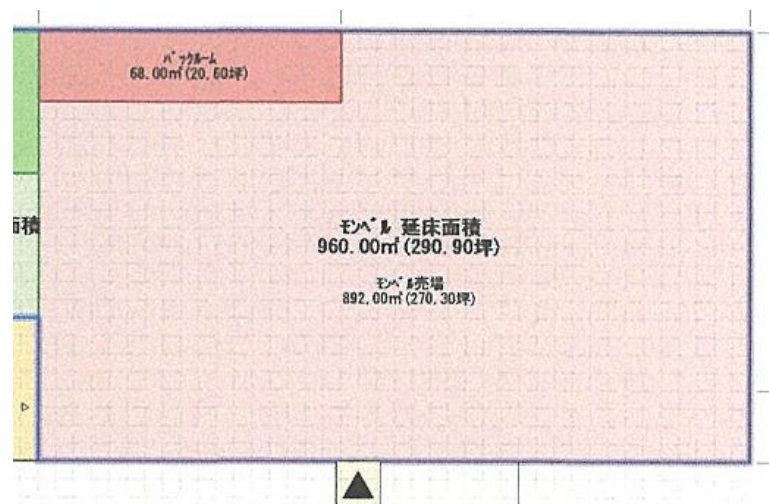
(4) 子育て応援施設

- ① 子ども連れが安心して利用できる環境を整え、子育て世代の交流の場を提供する。
- ② 子どもの年齢に応じた区画分けを行うなど事故防止に努める。
- ③ 安全確保のため適宜、巡回・点検を行う。



(5) モンベル直営店

- ① アウトドア商品全般の販売や展示、災害時に商品を適切に使用することにより防災機能を強化する。
- ② 農林業など地域産業の従事者が安全・快適に従事できる商品販売と展示を行う。
- ③ 店内にクライミングピナクルを設置することにより、クライミング体験を安全に提供する。



(6) ツーリストセンター・観光情報発信施設

- ① 市内の観光資源やアウトドアフィールド及びアクティビティ体験の情報発信と、情報提供を行う。
- ② ジャパンエコトラック「北秋田 森吉山」に関する情報提供を行う。
- ③ 秋田県北部・隣県のアウトドア・アクティビティに関する情報提供を行う。
- ④ カヤック・カヌー、自転車、キャンプなどのアクティビティ体験に必要なレンタル業務を行う。
- ⑤ アウトドア・アクティビティガイド人材の育成と組織運営を行う。
- ⑥ デジタルサイネージ等を設置することにより、市内の観光施設・文化施設について来場者へ魅力紹介を行う。



(7) 道路情報発信施設及び24hトイレの管理運営

- ① 道路情報コーナー及びトイレについては24時間利用可能とする。
- ② 利用者が清潔で快適に使用できる維持管理を行う。



【付帯施設等】

(8) 駐車場

- ① 来場者が安全に利用するための導線を確保する。
- ② 冬期間の除排雪を考慮した維持管理方法を検討する。

(9) 公園・釜堤エリア

- ① 老朽化した遊具を撤去し、公園と子育て屋内施設との連動性を検討する。
- ② 森吉山を遠望するロケーションを生かしながら、来場者が安全に利用できる憩いの場として適切な維持管理を行う。
- ③ 冬期間においても来場者が雪に親しむことができる工夫を行う。

(10) 大太鼓の館

- ① 展示内容の全面的な見直しを行うとともに、老朽化した屋根や外壁等の改修を実施し、施設及び設備の維持管理を適切に行う。
- ② 大太鼓保存会と連携し、綴子大太鼓の魅力発信や来場者への体験機会の提供など、誘客促進に寄与する積極的な運営を行う。

(11) 旧産直大太鼓（空きスペース）

- ① 現時点では、倉庫や従業員の休憩所、会議スペース、防災機能の確保等、多目的での利用を想定しているが、指定管理候補者や地元自治会等との協議により用途を決定する。

5. 地域・広域連携の強化

- (1) 市内及び近隣の道の駅等（大館能代空港、四季美館、あに、ふたついで等）と連携し、相互に情報発信等を行うことにより相乗効果を生み出す。
- (2) 市内全域をアウトドアフィールドとして積極的に活用するため、秋田内陸縦貫鉄道や北欧の杜公園、四季美湖ネットワーク、NPO法人森吉山等との連携を強化し、サイクリングをはじめとした各種アクティビティの充実を図る。
- (3) 世界自然遺産白神山地や十和田八幡平国立公園など、北東北三県のアウトドアフィールドに関する情報を関係機関等と協力しながら発信する。
- (4) 全国各地のモンベルフレンドエリアや、モンベル直営店が立地する道の駅等と連携を行い、産品交流等により商品ラインナップの充実を図る。

6. 目標

目標値については基本計画と同様とし、下表のとおり。

No.	項目	単位	当初値 (R5)	目標値
①	道の駅来場者数	人	296,453	600,000
②	道の駅売上げ目標	千円	187,800	379,800

(633 円/人)

※ 波及 効果 目標	森吉山県立自然公園	人	49,999	63,000
	内) 阿仁スキー場	人	46,481	—
	野生鳥獣センター	人	2,330	—
	太平湖・小又峡	人	1,148	—
	森吉山山開き	人	40	—
	安の滝	人	—	—
	伊勢堂岱遺跡	人	14,923	17,908
	宿泊客数（市内合計）	人	47,334	47,949
	観光客数（市内合計）	人	868,066	1,288,937

7. 今後の進め方

リニューアル後の道の駅たかのすの管理運営を適切かつ効果的に行うため、次のとおり市民や関係事業者等から意見を聴取する機会を設けるものとする。

- (1) 子育て世代をはじめとした市民を対象に、充実を望む機能や、重視する点などを聞き取りする調査。
- (2) 事業者（商工業・農業・飲食業）に対する出荷・出店意向の確認と、具体的な出荷商品などを確認するための調査。
- (3) 市内のアウトドア・アクティビティガイド人材（カヌー・カヤック、登山トレッキング、サイクリング）に対して、ツーリストセンター機能等に関する意見を聴取。
- (4) 大太鼓の館との連携について、地域住民及び綴子保存会からの意見聴取。
- (5) 指定管理候補者として想定または希望する民間企業に対する、管理運営への参加意向等を確認するためのサウンディング型市場調査。

《参考：建物の配置、動線、施設規模（イメージ）》

